

平成18年度

第1回区政モニターアンケート
調査報告書

《 「食育」について 》

平成18年5月

足立区政策経営部区民の声相談課

目 次

調査の概要	2
要 旨	4
問 1 朝食を食べる頻度	6
問 2 朝食を食べなくなった時期	6
問 3 朝食を食べない理由	7
問 4 朝食で食べる物	7
問 5 「メタボリックシンドローム」の認知度	8
問 6 食生活改善の必要性	8
問 7 食生活改善の必要事項	9
問 8 「食育」の認知度	10
問 9 「食育」の関心度	10
問10 「食育」に関心がある理由	11
問11 「食育」に関する活動の有無	12
問12 「食育」に関する活動をしていない理由	12
問13 「食育」に必要と思う情報	13
問14 食事に求めるもの	13
問15 「食育」についての意見、要望	14
調 査 票	20
集 計 表	25

1 調査の概要

この報告書は、平成18年度第1回区政モニターアンケート「食育について」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

「食育」に対する認知度や関心度、活動について、区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

平成18年5月30日～6月9日

4 対象者数、回答者数

対象者 184人 回答者 176人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

・郵便 148人 ・インターネット 28人

6 回答者の構成

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	20	23	1	3	4	2	4	6	2	6	8	5	7	12
インターネット	2	1	3	0	2	2	0	3	3	1	1	2	0	3	3
合計	5	21	26	1	5	6	2	7	9	3	7	10	5	10	15

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	12	14	1	11	12	5	6	11	2	7	9	3	16	19
インターネット	1	1	2	1	2	3	1	2	3	0	0	0	1	1	2
合計	3	13	16	2	13	15	6	8	14	2	7	9	4	17	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	6	9	15	2	4	6	3	6	9	37	111	148
インターネット	0	3	3	1	0	1	1	0	1	9	19	28
合計	6	12	18	3	4	7	4	6	10	46	130	176

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	13	16	7	41	48	2	19	21	2	18	20	11	16	27
インターネット	1	4	5	2	11	13	2	3	5	2	0	2	1	0	1
合計	4	17	21	9	52	61	4	22	26	4	18	22	12	16	28

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	11	4	15	1	0	1	37	111	148
インターネット	1	1	2	0	0	0	9	19	28
合計	12	5	17	1	0	1	46	130	176

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学生			自営業・家族従業			主婦			常勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	19	21	2	0	2	2	5	7	0	63	63	12	13	25
インターネット	0	2	2	1	0	1	2	0	2	0	14	14	3	2	5
合計	2	21	23	3	0	3	4	5	9	0	77	77	15	15	30

	無職			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	19	11	30	37	111	148
インターネット	3	1	4	9	19	28
合計	22	12	34	46	130	176

7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。

記述意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しました。

要 旨

特に指定のない限り176人に聞きました。

問 1 朝食を食べる頻度

「ほとんど毎日食べる」 89.8% (158人)

「週2～3日は食べない」 5.1% (9人)

問 2 朝食を食べなくなった時期 (18人中)

「中学生の頃から」 22.2% (4人)

「20～29歳」 22.2% (4人)

「30～39歳」 22.2% (4人)

問 3 朝食を食べない理由 (18人中)

「時間が無い」 33.3% (6人)

「食欲がわからない」 22.2% (4人)

問 4 朝食で食べる物 (158人中 複数回答)

「主食」 93.0% (147人)

「牛乳・乳製品」 59.5% (94人)

問 5 「メタボリックシンドローム」の認知度

「言葉も意味も知っていた」 56.3% (99人)

問 6 食生活改善の必要性

「はい」 56.8% (100人)

問 7 食生活改善の必要事項 (100人中 複数回答)

【必要と思う項目】

「保健所、保健総合センター等、行政からの情報提供」 74.0% (74人)

「市販食品や外食メニューの栄養成分表示」 73.0% (73人)

【必要と思わない項目】

「職場での情報提供」 49.0% (49人)

「飲食店での情報提供」 32.0% (32人)

問 8 「食育」の認知度

「言葉も意味も知っていた」 65.3% (115人)

問 9 「食育」の関心度

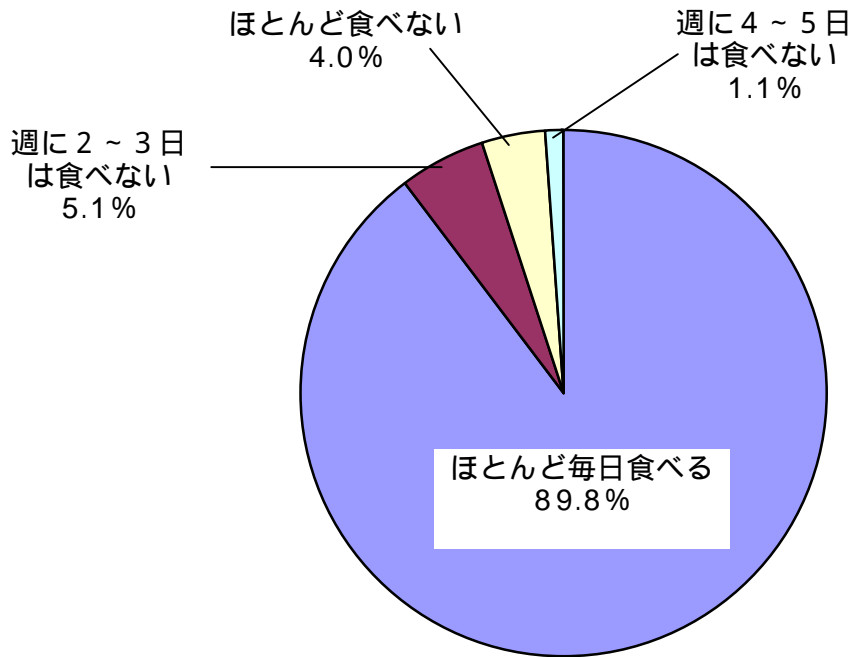
「関心がある」 58.0% (102人)

「どちらかといえば関心がある」 38.1% (67人)

- 問10 「食育」に関心がある理由（169人中 複数回答）
「子供の心身の健全な発達のために必要だから」 79.3%（134人）
「食生活の乱れが問題となっているから」 74.6%（126人）
- 問11 「食育」に関する活動の有無
「できるだけするようにしている」 44.3%（78人）
「したいと思っているが実際にはしていない」 25.6%（45人）
- 問12 「食育」に関する活動をしていない理由（76人中 複数回答）
「食事や食生活の関心があるが、他の事で忙しいから」 68.4%（52人）
「食事や食生活への関心があるが、食費を安くすることの方が重要だから」 38.2%（29人）
- 問13 「食育」に必要と思う情報（173人中 複数回答）
「食品の栄養やその働き・食事のバランス」 90.2%（156人）
「食品添加物など食品表示の読み方やその内容」 60.1%（104人）
- 問14 食事に求めるもの（複数回答）
「栄養のバランス」 86.9%（153人）
「美味しさ」 62.5%（110人）

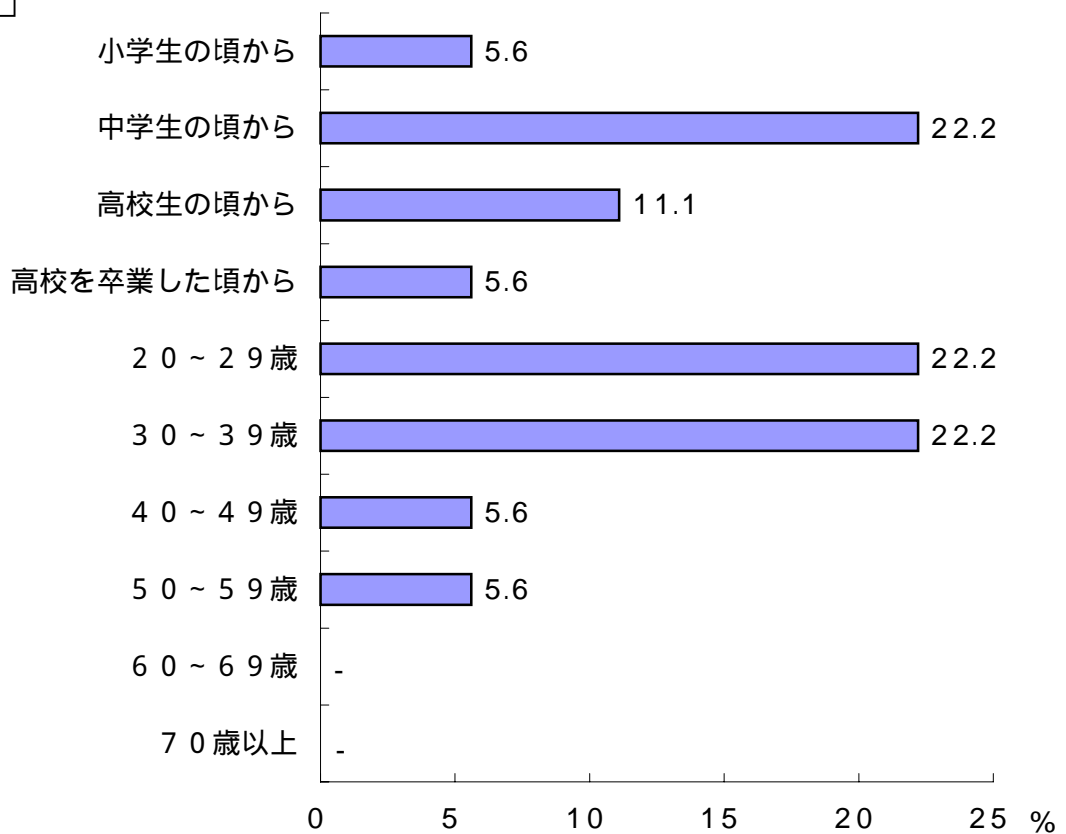
問15 は記述回答のため割愛

問1 あなたは、ふだん朝食を食べますか。次の中から1つだけ選んでください。
 (は1つだけ)



問2 問1で(2)(3)(4)を選んだ方にお聞きします。
 あなたはいつ頃から朝食を食べなくなりましたか。次の中から1つだけ選んでください。(は1つだけ)

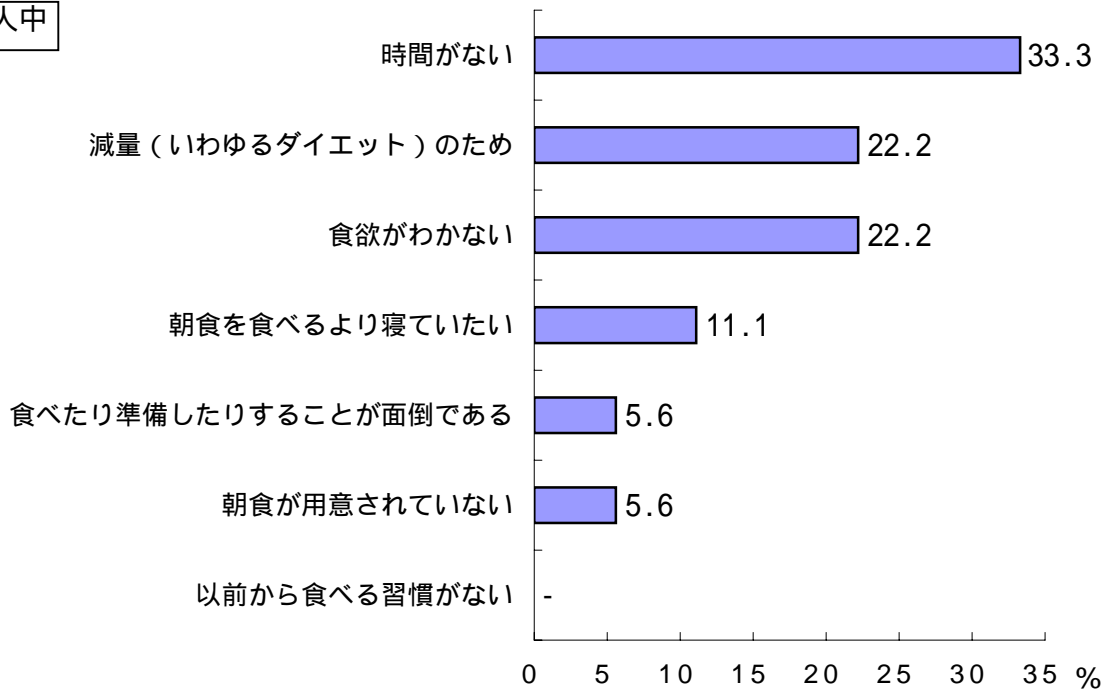
18人中



問3 続けて、問1で(1)(2)(3)(4)を選んだ方にお聞きします。

あなたが朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。(は1つだけ)

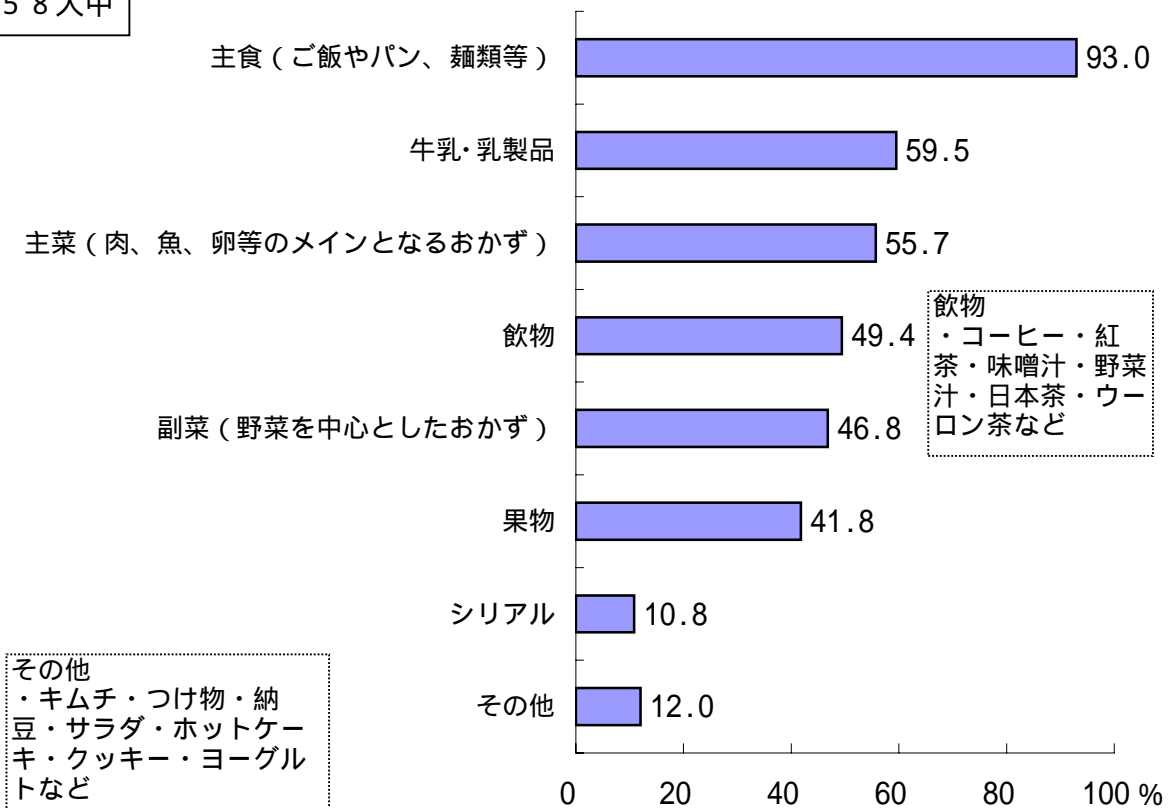
18人中



問4 続けて、問1で(1)を選んだ方にお聞きします。

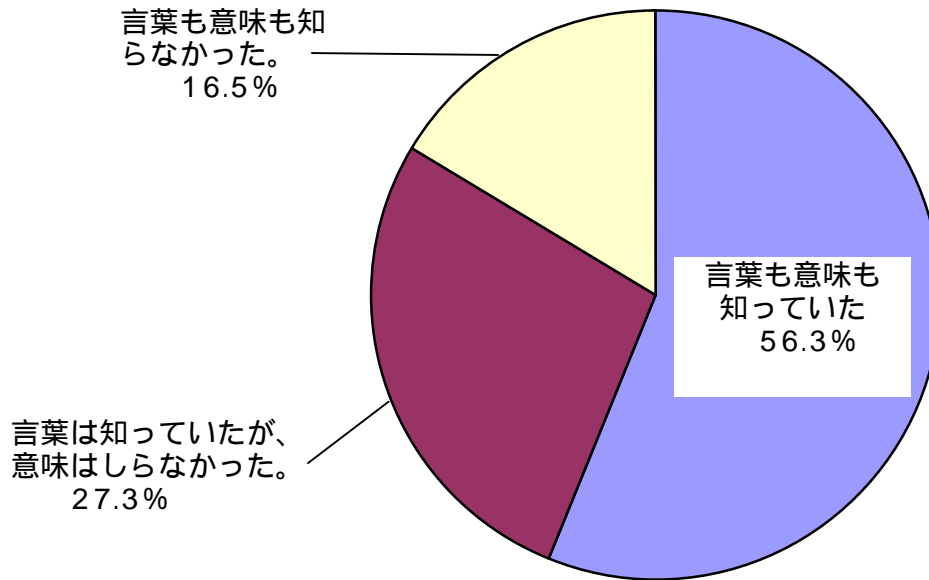
あなたはふだん朝食で、どのような物を食べる事が多いですか。次の中からいくつでも選んでください。(はいくつでも (6)は名称記入)

158人中

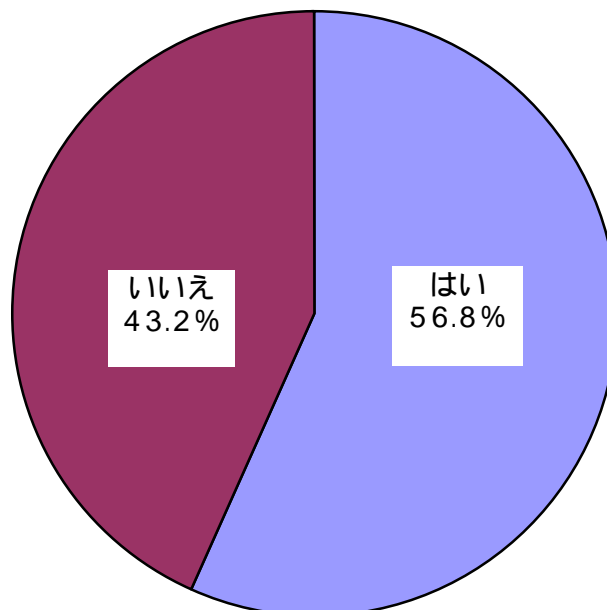


問5 全員の方にお聞きします。

あなたは「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」という言葉や意味を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。（は1つだけ）



問6 あなたは現在の食習慣について改善したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。（は1つだけ）

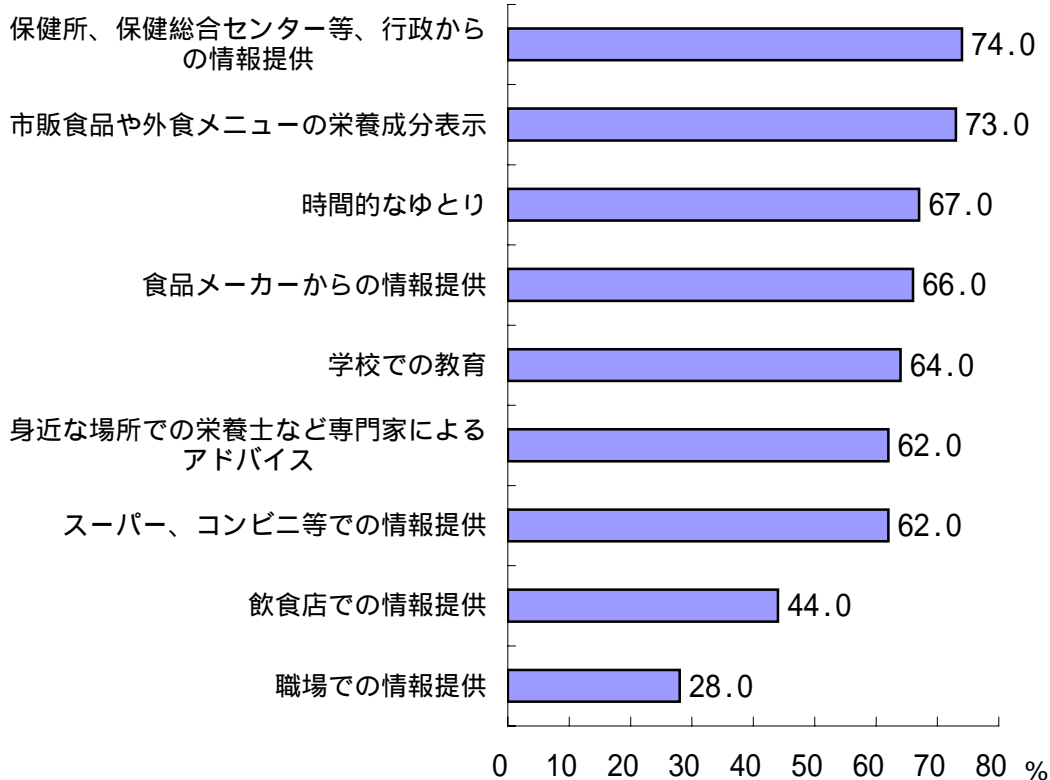


問7 問6で(1)を選んだ方にお聞きします。

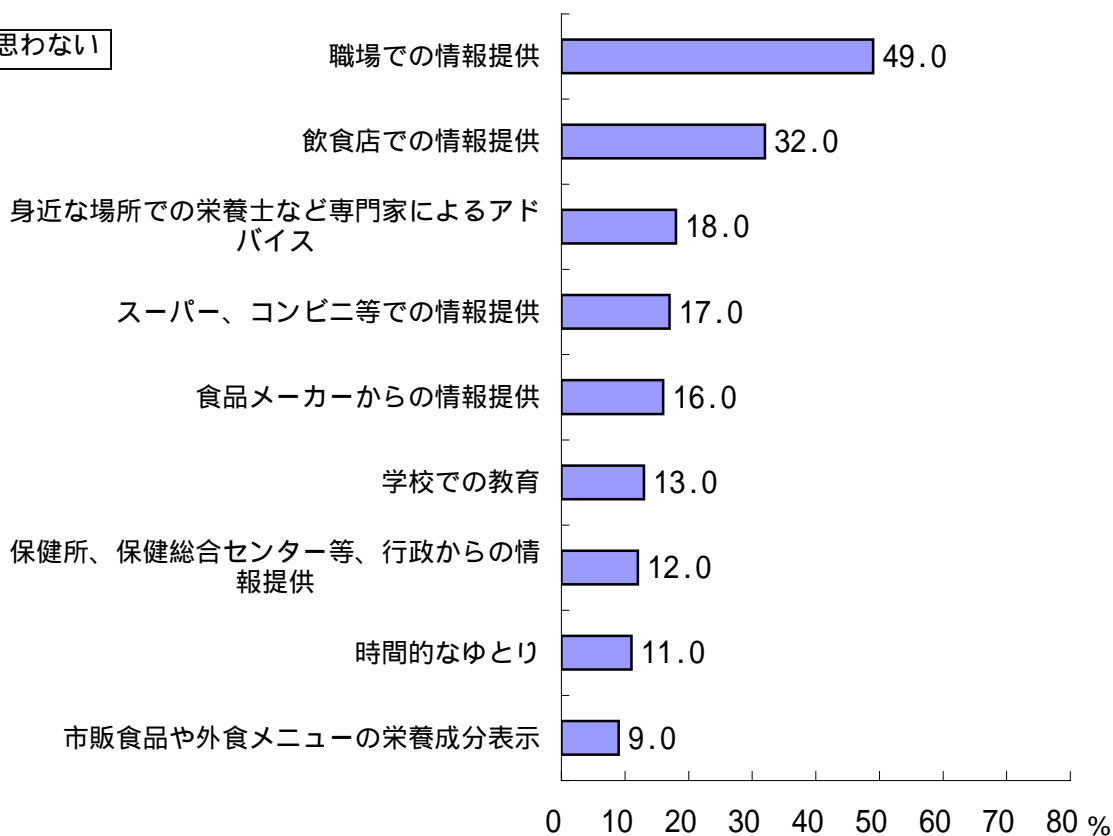
あなたの食習慣を改善しようとする場合、どのようなことが必要と思いますか。
次の中から選んでください。(それぞれの項目でA・Bどちらか1つだけ)

100人中

A: そう思

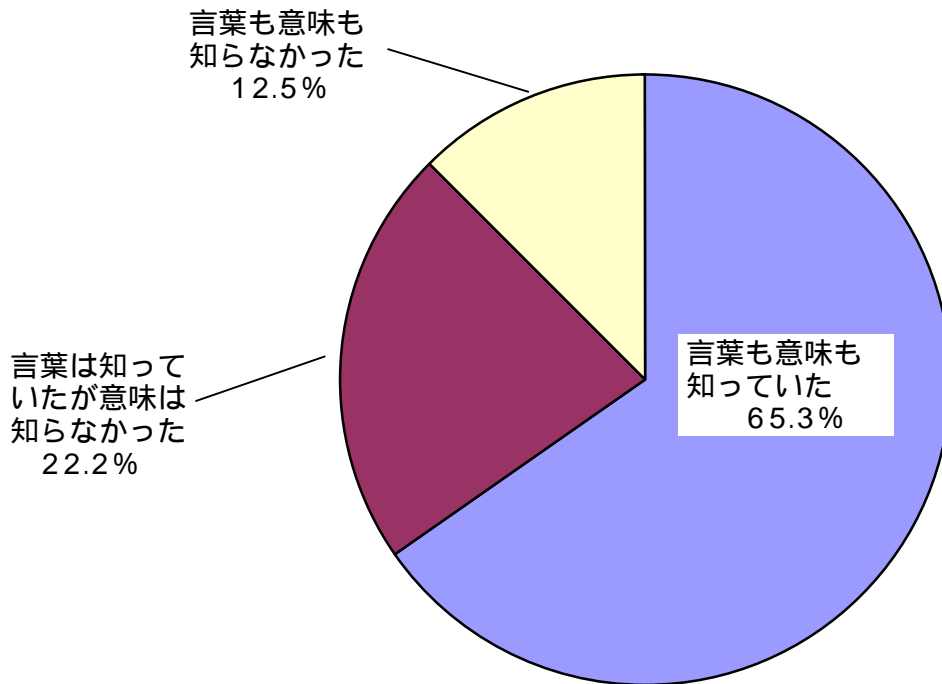


B: そう思わない

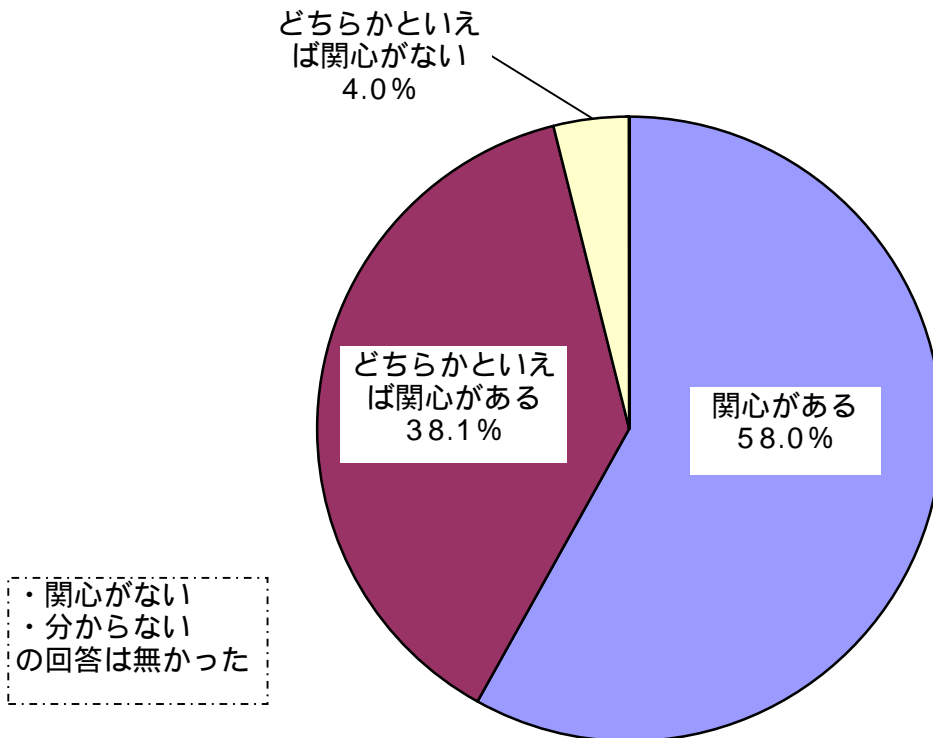


問8 全員の方にお聞きします。

あなたは「食育（しょくいく）」という言葉や意味を知っていましたか、次の中から1つだけ選んでください。（は1つだけ）



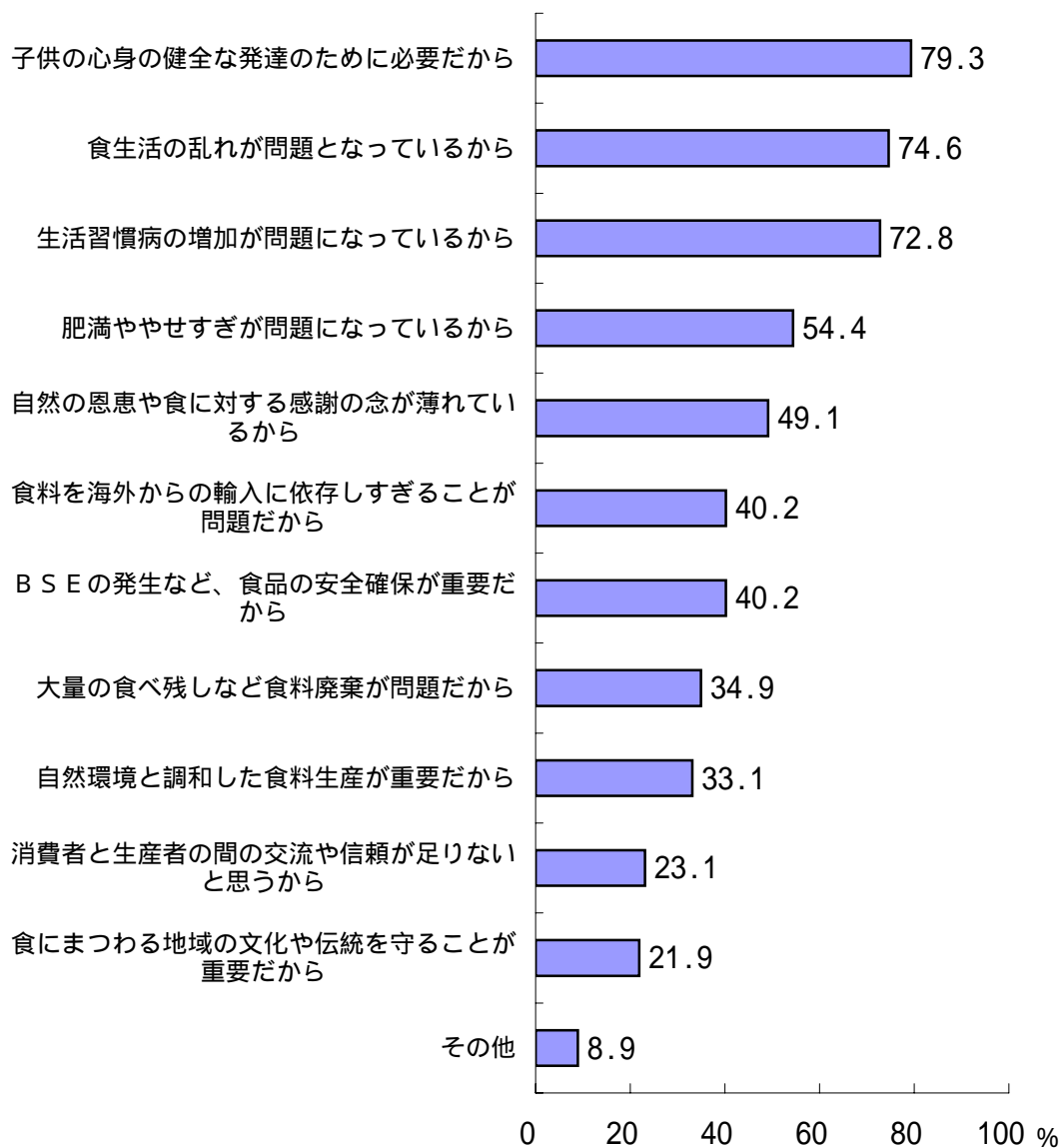
問9 あなたは、「食育」に興味がありますか。次の中から1つだけ選んでください。（は1つだけ）



問10 問9で(1)(2)を選んだ方へお聞きします。

「食育」に関心がある理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(はいくつでも)

169人中



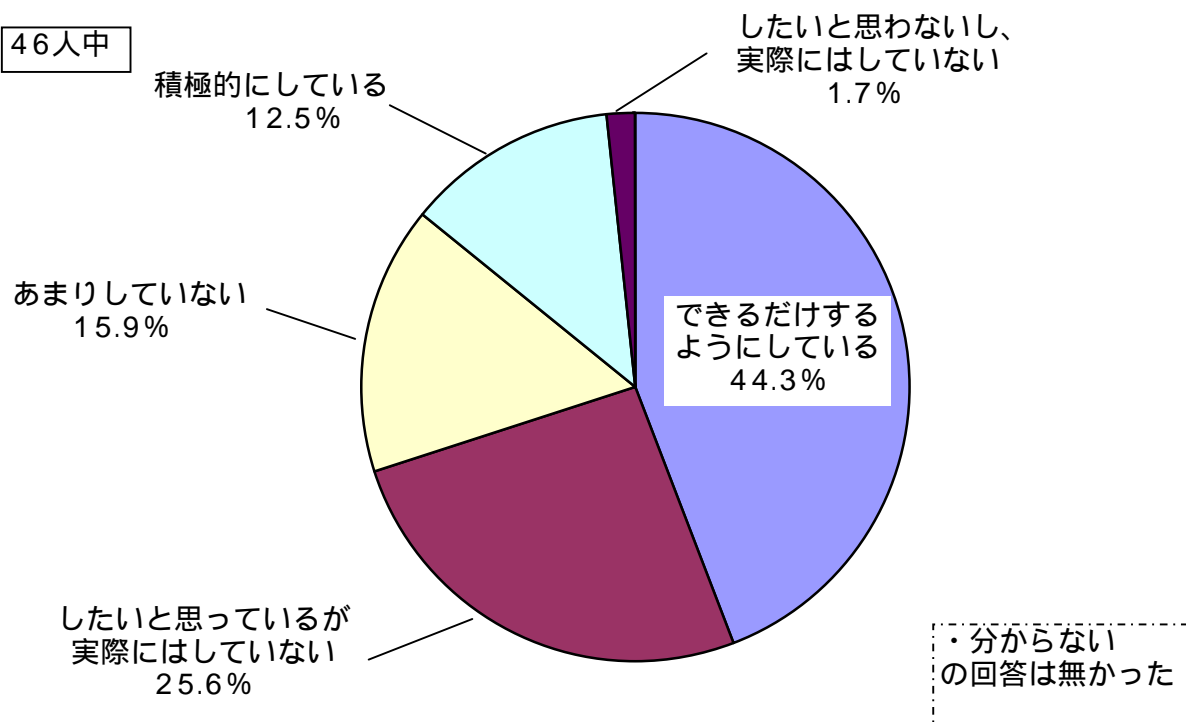
その他

・何でも食べる習慣をつけないから・生命や人生の基礎だと思えますから・国の減反政策が間違っている。減反に補助金を出している。大豆や豆類が止まったら死活問題・家族の健康・子育てや親子関係、家庭が一番大事だと思う・気をつけないと貧血を起こすため・個々に年齢相応の食べ方はあると思う・食べ物を食べるだけでなく、育て取り、調理する楽しさを子供の時から教える必要がある・肥満等で糖尿等の人には病院で食事指導があるが、太れない人に対する食事指導がなかなか無い為・家族で食卓を囲む必要性が「食育」の原点だと思うから・インスタント食品やファーストフード等、食品添加物が多く含まれる食品が出回っている事が問題と感じるから・食事というのは大切な事だから、日本の農業生産者を国が守るべきだと思う・食について一番心配なのは農薬がどの位入っているのか、輸入品も含めてです・子どもだけでなく、成人も食生活の乱れが精神病、生活習慣病、病気の長期化等の重大な要因となる・食事は命の大事さ、健全な心を育てる。流産や環境にも影響する。

問11 全員の方にお聞きします。

あなたは、日頃から、健全な食生活を行うために「食育」に関する何らかの活動や行動をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。(は1つだけ)

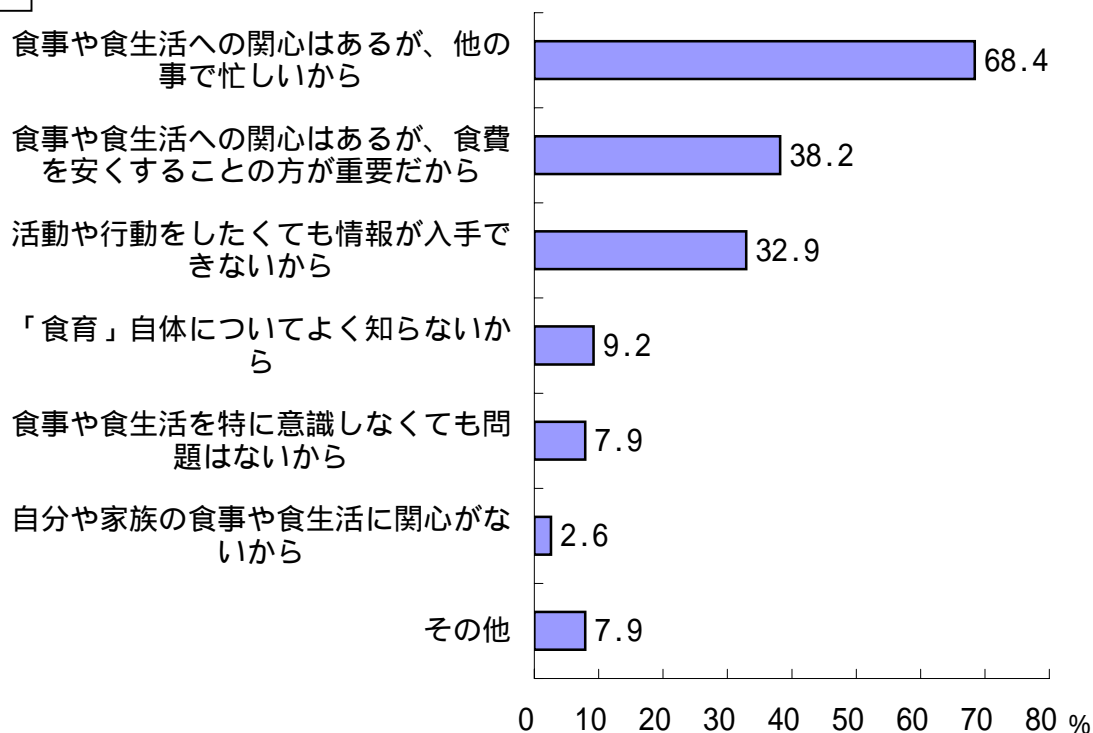
46人中



問12 問11で(3)(4)(5)を選んだ方にお聞きします。

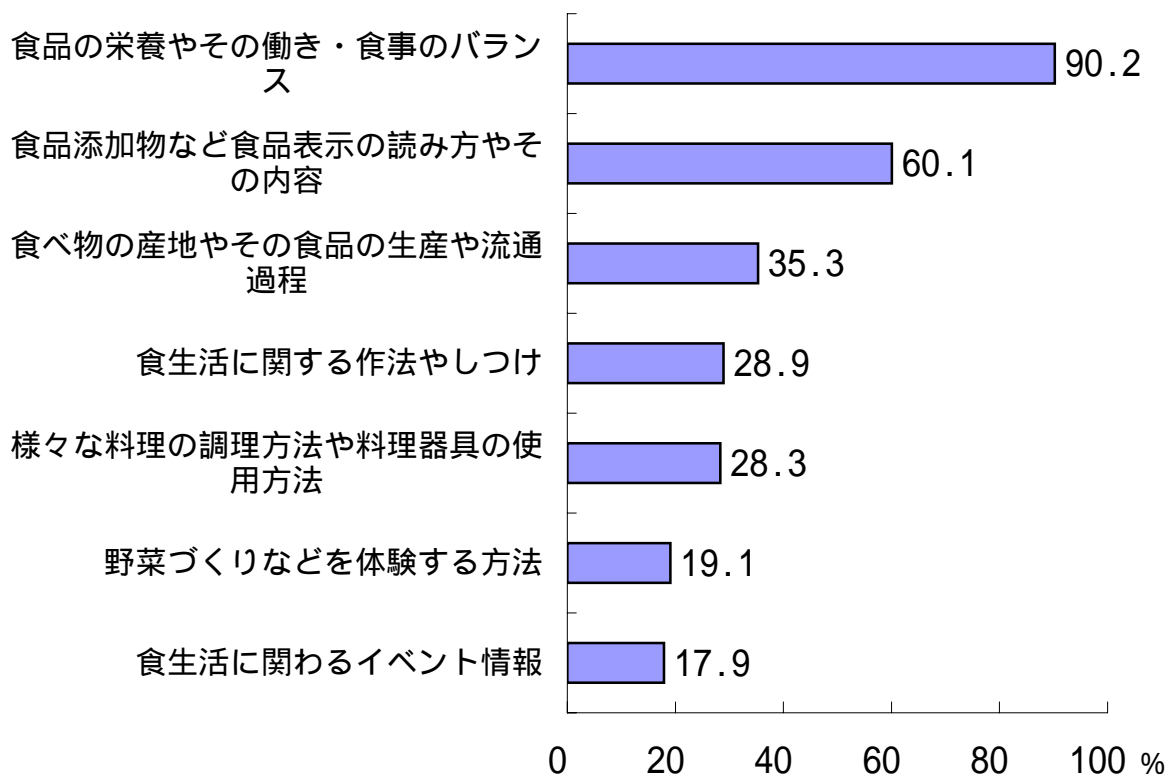
あなたが「食育」に関する活動や行動をしていない理由はなんですか。次の中からいくつでも選んでください。(はいくつでも)

76人中

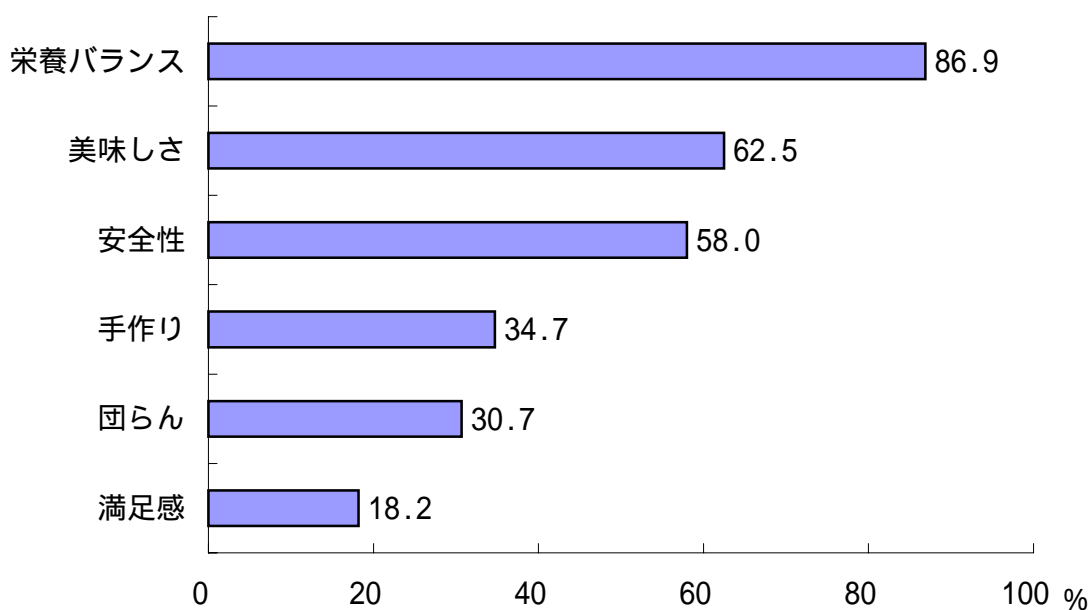


問13 続けて、問11で(1)(2)(3)(4)を選んだ方にお聞きします。
 あなたが、「食育」に必要と思う情報を、次の中から3つ以内で選んでください。
 (は3つ以内)

173人中



問14 全員の方にお聞きします。
 あなたが食事に求めるものは何ですか。次の中から3つ以内でえらんでください。
 (は3つ以内)



問15 「食育」について、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。
(自由回答)

年代	性別	15自由回答
20代	女性	子供が生まれ離乳食が始まってから、食育について考える機会が増え、児童館などで栄養士の先生からお話を伺ってたりしていました。児童館、保健センターなどでもっと食育に関するイベントがあるといいなと思います。
20代	女性	「食べる・食事をする」事の意味を最近考えるようになりました。以前は好きなものを好きなだけ食べ、ダイエットもしたりしました。子どもを産んでからは食の大切さを実感します。実家では家族皆で食事をしていの中で、コミュニケーションや食の大切さや栄養のことなどを盛りこんでいた。
20代	女性	うちにも小さな子供が2人いますが、食というものにはいつも考えさせられます。私たちにもっと身近に食に関係する施設や、多くの意見が聞ける場所があればと思います。
20代	女性	何か食育について勉強会、活動があったら教えて下さい。
20代	女性	子供には好き嫌いなく食事をしてもらいたいので、保健所などで子供の食事講座があればいいなと思います。子供のおやつ作りの教室もあればもっといいなと思います。
20代	女性	野菜等の生産者(農家)の方と野菜づくりを体験し、育てた野菜を収穫し、旬の野菜を使った料理講習会を是非開催していただきたいです。'地産地消'の観点から食育を学ぶ絶好の機会になると考えます。
20代	女性	将来的なことも見据えて、からだに良い食事を取ることができたらと考えております。
20代	男性	周りの食習慣を見てみても、栄養のバランスに配慮した食習慣の改善は急務であると思うので、「食育」の重要性・必要性は高いといえる。
20代	男性	「食育」に関する図書の案内を図書館で行ってほしい。広報等を通じて「食育」に関する情報を広めてほしい。農作業を体験できる場を設けてほしい。
20代	男性	現在食料は、ほとんど輸入に頼っています。安全性の確保が第一だと思います。
30代	女性	食育の重要性が言われている中、地方自治体、家庭、食品メーカーが一体となった取組みが必要だと思う。食生活に関するイベント情報をもっと多くやってほしい。
30代	女性	子供が小食で食べる事に興味を持たせようと、一緒に食事を作るようにしているが、住区センターなどでクッキング(親子)教室など、食育に関する教室を設けてほしいです。
30代	女性	食育は老若男女問わない共通の課題で、コミュニケーション手段にはとても良い題材だと思います。どうしても家庭の問題、そして母親の役目という考え方の人が多いと思いますので、学校でも積極的に取り組んで、それを子供が家庭に持ちかえり、父親に語って欲しいと思います。
30代	女性	我家では「早寝・早起き・朝ご飯」を心掛けています。なかなか実行するのが難しいのですが、できるだけやっています。「食育」に関しては、行政がもっと情報、イベントをだして、どれだけ大事なのか重要なのかを、わかってもらえればいいと思いました。
30代	女性	自宅ですらうとしても、なかなか情報がないので難しいと思う。区の冊子などあるとうれしいと思います。
30代	女性	毎日の食生活が大切だとわかりました。
30代	女性	住んでいる場所で、新鮮で安全な野菜を作っている農家の方が直売しているなら、是非マップを作って欲しい。買いたいと思う。栄養のバランスを考えて料理を作っているけど、農薬が沢山残っているのは困る。家庭菜園の作り方など教えて欲しい。
30代	女性	食育という言葉は聞いたことがあるが、どんなことかよくわかりません。区で食育についてくわしく書かれているものはないのでしょうか。
30代	女性	だいたい食品は表示を見れば分かりますが、加工食品の場合は分からなくなってしまう部分があるので、知らないで食事をしている事があると思うので、もっと詳しく表示して頂きたいです。
30代	女性	食育に対する感謝の気持ちが薄れているので、出来る限り地産・地消を心掛けて、食べ残しのないよう食の大切さと同時に、命の大切さを子供だけでなく、大人にも教えていかれるような活動が重要だと思います。
30代	女性	嗜好品、インスタント、ファーストフード、コンビニと食事はどこでも手に入れることができるが、その安易さゆえに生活習慣病が増加していると思う。また、この時代に育ってきた者が親となり、子の食生活も同じくなり、子供の肥満も問題となってきている。
30代	女性	子供の栄養のバランスは気になるが、なかなか食品数を多くできず、給食では確実に栄養をとっているからまあいいかと思ってしまうところがある。
30代	女性	家族そろっての食事に気をつけているが、どうしても夕食がおそくなってしまふ。子供とできる料理教室があるとよい。

30代 女性	栄養のバランスを考え、食品添加物等に気を使って、手作りで美味しい料理を提供出来ることが理想的だけど、それよりも大切なことは、家族団らんで会話を楽しみながらいただくことがいいと思います。せめて食事の時くらいは、ゆったりした気分を心掛けています。
30代 女性	バランスのよい食事を心がけている。
30代 女性	栄養価や旬のものの良さを、年配の人にも知らないように思う。高いといいながらサラダに必要と思いいこんで、冬にトマトを買い人も少なくない。体のために栄養のバランスを取ることは大切だと考える人は、少ないのではないかな。
30代 女性	食育という言葉の意味を知っているようで、きちんと勉強してみると深く考えさせられる事が多いです。最近はスローフードがだんだん定着してきて、世間の考え方も変わってきたので、これを機に日本の食料自給率も上がると政治的にも安心です。
30代 女性	小さな子どもがいるので食事には気を使います。生協の産地体験ツアーに子どもを連れて行くのが目標です。手作りを心がけていますが働いているので大変です。子ども用の市販品のお菓子が濃い味のものが多い困っています。保育園でもしょっぱい塩せんべいとかあげられ悲しい。
30代 女性	家庭の役割、責任をもっと自覚させるべき。
30代 女性	・最近、朝食を食べない子どもが増えているが、親は自分が食べなくても子どもには食べさせるべきだと思う。・起床してから出かけるまでの時間に余裕がない、夜更かし 朝寝坊の悪循環になる。生活全体を見直す必要がある。・子どもの早起きを区で進める必要があると思う。
30代 女性	成長期の子供と、働き盛りの夫がいる為、主婦としてはとても興味深いものがあります。区のセンター等で「食育」を知るための料理教室をどんどん開いて頂きたい。
30代 女性	食育について関心はあるものの、どのようにしたら良いのかが分かりませせん。食品の安全性についても不安があります。
30代 女性	私は最近「食品添加物」に興味があり、加工食品を購入する際にも原材料の欄を必ず見るようになりました。しかし、あまり良い物ではないということ以外に具体的などのような影響があるのか分からないので、その内容を含めた小冊子を発行して、各家庭に配付してほしい。
30代 女性	毎日育児におわれ、ゆっくり考えたことがありませんでした。何か機会をあたえてくだされば、みんな耳をむけるのではないのでしょうか？
30代 女性	バランスの良い食事をして丈夫な体をつくり、安全な食生活をしていくことだと思っています。生きていくためにも食べることは大切なので！
30代 女性	やっぱり病気にならないよう、普段から情報やアドバイスなど、保健所などから提供してもらえると良いと思います。
30代 女性	食育はとても大切なことだと思っています。食のとり方、価値観などで人間性も表れると思っています。本来は家庭で身につけるべきですが、それが出来ない家も多々あるのも現実。学校給食やイベント等でしていただくと良いと思います。
30代 女性	野菜中心の食事をつくりたいと思っているが、忙しいとついつい手抜きしてしまうので、もっと家族の為に真剣に考えていきたいと思っています。
30代 女性	今になって思えば、学校での家庭科の授業はとても大切だったのにあまり身になっていない(覚えてもない)。もっと授業に「食育」を取り入れていくべきではないか。区報とかでもたくさん取り上げてほしい。
30代 女性	これから勉強したいと思っています。子供も2歳なので成長する過程なので。
30代 女性	食育について少しでも役立つ様な情報が得られる機会(広報などで)があるといいと思う。
30代 女性	スピードを求めるこの時代に一番必要なものは「食育」だと痛感しています。食生活は生きて行く上で必要なもの。食をとおして子供から大人まで学べるものは沢山あります。積極的に参加しなければいけないと思います。まずは、家族で食卓を囲むことから始めるべきだと思います。
30代 女性	誰もが見た目が美しく、栄養のバランスがとれていて、味も美味しく楽しい雰囲気の中での食事を求めていると思うが、時間的に経済的に余裕が無いと難しい。私の場合は「食」に関して初めから締めに入っている。
30代 女性	子どもの発達に応じたバランスの取れた食事、主人の生活習慣病の予防の為に食事の両立が、なかなか難しいのが現状です。料理ばかりに時間を費やせないし…。
30代 女性	私は妊娠してから食の大切さに気づきました。我が子に食べられることに感謝し、残さず食べることを教えてきました。そして区民農園を借り実際に作ってみました。それなので我が子は何でも食べ無駄に太っていません。食は今後の自分たちに環境という形で帰ってきます。
30代 女性	生まれた子どもはまだ離乳食ですが、季節のものなどをとても気にするようになりました。凝ったものではなく素材そのものをシンプルに食べるのがいいのかなぁと思います。また一人の食事より、誰かと食べる喜びをもっておいしく食事をする、というのも大事だと最近思います。

30代	女性	食育という言葉がもっと身近になればと思う。肌の健康にも重要だし、モデルやアイドルが訴えれば浸透すると思う。離乳食を出来合いで代用する時点で食育は崩れていると思う。仕事をする主婦でもその位の時間は取れると思う。育児の段階で話すべきと思う。企業にも問題がある。
30代	男性	食事は自分では全く作る事がないので、あまり分からない事の方が多いと思いました。
30代	男性	小学校の授業で、もっと積極的に食育について話し合いをして、食べ物大切さを教えてあげる必要があると思います。
30代	男性	BSEなどが問題になっていますが、消費者に安全な食品を提供してほしいと思います。
30代	男性	添加物の情報を理解していない人が多く、課題の一つではないかと思っている。
30代	男性	「食育」という言葉自体は知りませんでした。ただ「食生活」への見直しや関心は以前からありました。また、今回のアンケートへ回答していく中で「食育」の必要性も高いと感じました。問13・14はすべて大切だと思います。その中で優先順位上位3つを選んだものです。
40代	女性	食育とは、私たち大人が子供に教えるのではなく、一緒になって勉強していくものだと思います。
40代	女性	バランスの良い食品、食品添加物などの影響など詳しく知りたい。
40代	女性	手づくりの食事が重要なのはわかります。実際に時間もなし料理の好きな人、嫌いな人もいます。バランスの良い食事を安く提供してくれればいいのですが…。
40代	女性	わかっても手軽で安く美味しいものに手が行ってしまふ。食育について小さな頃から教育していけば、もっと食事の大切さが身に付くと思います。
40代	女性	我家は朝食を必ず食べるようにしています。栄養のバランスもあるけど、何か口に入れてエネルギー源にしようと考えています。やはり身体にとっては食べて栄養にすることが大事だと思います。あと、おいしく楽しく食べることが心にも良いと思います。
40代	女性	学校の栄養士に、給食の時に子供が食べる楽しさを教えてもらったり、講演で食育の大切さを教わりました。インスタントやコンビニ・スーパーのお弁当はすぐ食べられますが、田舎ではミネラル野菜作りが盛んです。区の広報紙でも食育に関する情報を載せてください。
40代	女性	先日、娘の学校で「食育」のお話を栄養士の方から伺いました。とくに、育ちざかりの子供には関心を持ち続けなければいけないと思いました。
40代	女性	小学校の給食では、「しゃべらず、20分以内に残さず良く噛み食べましょう」という目標です。「何が出て、どんな味が、良く噛んで食べる」には忙しすぎると思います。食材がどこから来てどのように調理されるのか、学習する時間が子供からあればいいと思います。
40代	女性	三国シェフが食育のために学校に出向いて教えているそうです。学校には栄養士の先生や給食作りの方がいるので「食」について児童に教えることができる機会を作ってあげたら良いと思います。
40代	女性	最近では食品の外装や外食メニューなどにも、随分、カロリー表示や栄養成分表示がされる様になったと思います。メタボリック・シンドロームなどで悩む人にとって、食品を選択する際に、とても目安になるので、全ての食品にその様な表示があれば良いと思います。
40代	女性	忙しい毎日を送っていると、つい冷凍食品など利用してしまうことがあるので、食品表示等を見て、体に良い物を選ぶ様に心がけています。私としては、出来れば「全て手作り」というのが理想なのですが、現実には難しい限りです。
40代	女性	最近、メタボリックシンドロームが話題になっているので、いろいろな所で情報をながしてもらいたいと思います。
40代	女性	小学生の子どもを持つ母として朝食をしっかり食べさせたいと思う。手早くバランスが良いメニューのレパートリーを増やしたいので、情報提供を学校や区のお知らせなどでしてもらいたい。給食で人気のメニューのレシピをホームページで公開するのはどうでしょうか。
40代	女性	親にも子にもゆとりがない。贅沢な食事よりも、手作りで美味しく皆で食事することの大切さを、子どもたちに伝えたい。
40代	女性	特に問題なのは、子供たちが朝食をとらないことだと思う。親として義務を果たせないなら、子供が自分で食べることを教えるべき。私はダイエットのため、ここ2年シリアルにヨーグルトなどを食している。これなら火も使わず、小学1年生でも出来るだろう。朝は簡単が一番。
40代	男性	イベントなどがあれば参加してみたい気持ちはある。
40代	男性	自分では、食事に気をつけているつもりでも、本当に栄養バランスが良いかは、わからない。たとえば、1週間とか1ヶ月の食事内容を伝えと、その人の食生活が100点満点でどのくらい等と判定し、指導してくれる場所があればよいのだが。
50代	女性	できるだけ手作りの料理をこころがけています。野菜もプランターなどで少し作り楽しんでます。

50代	女性	これからの高齢化社会にともない、栄養のバランスがとれていて、かんたんに作れる料理方法等、料理教室、イベント等で参加できたらいいと思っています。
50代	女性	食育、食育と問題になっていますが、基本的には家庭でお母さんが手作りの愛情こもった料理、家族団らんが一番です。学校でも米作りや食に対する感謝の気持ち、世界中で飢え死にする子供の話やフィルムを見せるべきです。以前、食育に関する仕事に携わりいろいろ勉強になった。
50代	女性	食べることは生きることに直接関係することであると思います。食べることが楽しみであり、家族が顔を合わせ、共通の話題がはずむ大切な時間だと考えています。
50代	女性	私が子供の頃には、食育という言葉はなかったように思います。あえて言うまでもなく昔とおりの生活の中で自然に養っていったのではないのでしょうか。当り前のことが当り前でなくなっている、今の世の中は変です。特にインスタント食品等、便利で手軽なものが出来てからです。
50代	女性	以前住んでいた所では、生産者の直売が定期的に行われていました。新鮮で値段も安く、旬の野菜・果物が手に入るので食生活が豊かでした。もちろん大根など葉付です。足立区でも魚沼市などと“定期的”な直売所を、駅、周辺などに設けて販売していただければと思う。
50代	女性	テレビ番組で“好きな物しか食べない子ども”を見た。ここまで深刻なのか！と驚いた。食事は本来家庭の躰にも関わるが、もう個人のレベルではないと感じた。市川市？の取組みに学び、当区も早く手を打った方がよいと思われる。家庭～医療までどのように連携するかが問われている。
50代	女性	ストレス社会にあって、一番必要だと思います。食生活の乱れが体に一番いけない事で、今、すぐに「きれる子供」や、大人のストレス、まさに食生活だと強く思います。そして忙しくとも手作りが一番です。
50代	女性	情報社会の中でキレるという事を聞きますが、家庭での食生活の乱れが有ると思います。原点に戻って改善しなければならぬと思います。
50代	女性	現在の日本人の食生活は、一人暮らしでも…多人数家族でも安心して過ごすことが可能です。したがって、自己管理して健康に長生きできるように、3度の食事を取りたいと思います。
50代	女性	・朝食を食べない親が多いと聞きました。親は食べなくても子供には食べさせるよう指導してほしい・ファーストフードや加工食品の食べすぎにより健康を害することを親が注意することが望ましい・区内農業への参加及び区内で収穫される農作物をもっと知り、もっと食べよう。
50代	女性	何を食べるかよりも食品の安全性を重点に考えたいので、農薬とか多く使っている中国の野菜は、安いからといって大量に輸入しないでほしいと思います。
50代	男性	出来るだけ肉料理などの洋風食にならないよう注意し、和食(日本食)をふやす。
50代	男性	日本の食事は余りにも海外へ依存している。これから中国が加わる中で、浪費する海外の食品を自国内で生産できるように日本は政策を改めるべき。折りしも、団塊の世代が農業復帰する機会を捉えて、政府は積極的に支援策を提示すべきである。
60代	女性	毎年5月になると野菜の苗を植えますが、すぐ虫がついて葉がだめになります。スーパーで売っている野菜は虫の穴一つありません。どれだけ農薬を使っているのでしょうか、心配しながら食べています。
60代	女性	味付けは塩を少なく酢を使うようにしています。若い人達の来る時のおかずは肉をあまり使わず、魚や野菜中心の料理をするように心掛けています。若い人の食事はほとんど肉中心の食事を見ているからです。
60代	女性	TV等で食育という言葉の時々聞く事がありますが、意味はよくわからなかった。最近は食べる事よりサプリメントに力を入れてる人が多くなったように思います。
60代	女性	日々手近な所から、少しでも実践、配慮すれば、健康な食生活に寄与し自然環境にも良く、生産者の方々への支援にもなる方向に動く様な食情報が継続して得られる事を希んで居ります。また、近所に農地があり、お手伝いしてお役に立てる作業はないかと、通る度に思います。
60代	女性	食事は出来る限り手作りしています。材料費はなるべく安く、手間は惜しまず、栄養のバランスだけはいつも考えて作ってるつもりです。
60代	女性	中学校・小学校等の家庭科の時間(授業)に年配者(リタイヤした人)を呼んで教えてもらったらどうでしょうか。有名な人、専門の人でなくてもよいと思います。
60代	女性	自分自身を大切に考え、食についての大切さを改めて考えさせられた。今まで新しいことは思わなかったのですが、こうやって考えて見ると、とても大切なことだと思いました。
60代	女性	・野菜の産地がはっきりしない、外国産のものは農薬が使用されているようなので国産を購入したい。チェックして欲しい。・小・中学校で正しい食生活を教えて欲しい・TVなどで良く取り上げられているのである程度理解しているが、区でも時々、研究会などを設けてほしい。

60代	女性	幼少時より食前食後の「いただきます」「ありがとう」「ごちそうさま」の挨拶をする習慣をつけ、大地への感謝をする気持ちを育てていけば、食べ残しもなくなり、やさしい思いやりのある性格をつくと信じる。
60代	女性	食品の栄養とはたらき、またバランスなど常日頃考えております。ファーストフード系が多い昨今、環境にもやさしい無駄のない食生活をしたいものです。若いお母様方はお勤めしているからか、冷凍食品の買い溜めをして、子ども達は季節感を育くんでいるのでしょうか。
60代	女性	もう少し身近なスーパー等で、野菜でしたら組み合わせで、このような栄養バランスが有るとか、コンビニは出来てる弁当が多いが、カロリーだけでなく、もう少し栄養バランスを考えた物があつたら、又、表示を大きくしてほしい。食育をアドバイスしてくれる所があればと思います。
60代	男性	病気の予防には日頃の健全な食生活が不可欠なので、美味しくてバランスの取れた食生活が必要とおもわれるので、その為の知識を求めていきたいと思う。
60代	男性	身近な問題なので大変関心がありました。項目の中で大変慎重に感じさせる事があり、子供、孫には、その場面で教えてやりたいと思います。
60代	男性	食育について色々な角度から勉強しました。年と共にふと故郷を思い浮かべて、田舎料理が食べたくなる時が多々あります。
60代	男性	発展途上国からの果物・野菜類輸入が心配です。鳥ウィルスやBSEについて輸入検査、国内品の検査を厳重にし、国民が安心した食育が出来るようにして頂きたい。
60代	男性	小学校教育の中でしっかり教えるべきと思います。
60代	男性	生活習慣病コーナー販売の義務付け。肥満者にさせない対策。
60代	男性	子供の時から食品に対する知識(栄養・生産地等)を教え、食についての正しい知識を身につける事が必要と思います。
60代	男性	古語に「腹八分に医者いらず、腹七分に病無し」とあります。「食べ方」による弊害が多くの生活習慣病を招いているように思います。1、小学校から「食育」教育することは大切なことでしょう。2、少子高齢化のこれからは「食改善」を官・民業で取り組むことが重要です。
60代	男性	近くでグループ活動、イベント等参加しやすい広報が必要だと思います。
70代	女性	年齢的なこともありますが、高齢者一人の食となると、昔(子供の頃)この土地で食べたものを大変美味しいと思います。(足立区以外で生活したこともないので)
70代	女性	個食化がすすみ、一家の団らんがなくなったことが、さつぱつとした家庭になり、親子の交流がなくなったのではないかと考えています。
70代	女性	足立区もいろいろな教室を実施しています。今後もつづく事を願っています。
70代	女性	子供に対してどう教育したら良いか?自分自身でさえ美味しさのみを求めがちである。安全性を考えると何も食べれなくなる。体内の毒はどうしたら出せるのか?
70代	女性	保健所で行った内脂肪予防教室に参加して、改めて自分の食生活見直す事ができ本当に良かったと思いました。このような機会がもっとあればと思います。
70代	男性	糖尿病なので食事について関心あります。カロリー計算で作れば良いのですが実行できません。良いという情報で飲物・食品を試すのですが効き目がありません。運動第一と月1回の医者の指導を受け、薬と共に励んでいます。
70代	男性	戦後の食糧危機の時代に育った私は、今の飽食の時代には隔世の感があります。「食育」人間生きて行く上でこれ以上大切なものはありません。飽食の現代でいかに啓蒙するか、広報やいろんな機会を通じて周知することが大切です。いつか日本も飢餓の時代が来ると危惧しています。
70代	男性	国の減反制度の見直し、学校で農業の取り組み、給食は現状で充分だがその根本にある農作物を作る食べるが不足。教師も農業の知識が不足している。活字だけの知では子供の指導は出来ない。ある学校で田植えの指導を教育者がペーパーでやっている。もっと食育の原点を考えて、主に食事を作る主婦層に特にアピールするようなお知らせ、例えば定期的なパンフ、回覧等をまわすようにしてほしい。
70代	男性	「医食同源」=食は生命を養い健康を保つ源であります。食とは人を良くすると書きます。食は人の性格をも変えると言われています。子供たちの心身の発達には食が大切です。故に食の教育を母親に自治体中心に「食育学校」を開くべきと思います。(すぐキレル子供は食が問題)
70代	男性	食育は極端な場合は別として、なかなか結果が現れず、気づいた時には生活習慣になって修正はムリです。小さいうちからの教育で、手を抜くと高齢になって苦労する。'プリヤサ balan'ではないが、食べ方を見れば、その人がどんな人なのか分かってと思っています。
70代	男性	「食育」の問題はあまりにも身近すぎて関心が薄いのかと思います。また、行政からのPRが少ないのもその原因の一つだと思われます。
70代	男性	人間が日常、健康に過ごす源はバランスの取れた食事、つまり食育です。今の情報があふれる中、私の場合、妻が都の食育フォーラムに参加し、自身や私に見合った食事を作っています。今の若者の手の加えない食事の質は、所詮見帰りも限られます。私の年代になった時が心配。

70代	男性	食育は大変重要な事であり、特にこれから成長していく子供達に十分に教育する必要があると思っています。
70代	男性	大変重要なテーマです。是非積極的なP・Rが肝要と思考いたします。
70代	男性	国産野菜の増産を国は奨励すべきと思います。
80代	男性	食育は毎日の食生活で、直接健康に関するもので、特に発達盛りの子供にとって大事である。

集 計 表

(%)

「食育について」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	176	46	130	82	94
問1 朝食を食べる頻度	N = 176				
(1)ほとんど毎日食べる	89.8	87.0	90.8	86.6	92.6
(2)週2～3日は食べない	5.1	4.3	5.4	7.3	3.2
(3)週4～5日は食べない	1.1	2.2	0.8	1.2	1.1
(4)ほとんど食べない	4.0	6.5	3.1	4.9	3.2
回答者数(人)	18	6	12	11	7
問2 朝食を食べなくなった時期	N = 18				
(1)小学生の頃から	5.6	16.7	-	9.1	-
(2)中学生の頃から	22.2	16.7	25.0	18.2	28.6
(3)高校生の頃から	11.1	16.7	8.3	18.2	-
(4)高校を卒業した頃から	5.6	-	8.3	9.1	-
(5)20～29歳	22.2	-	33.3	27.3	14.3
(6)30～39歳	22.2	16.7	25.0	18.2	28.6
(7)40～49歳	5.6	16.7	-	-	14.3
(8)50～59歳	5.6	16.7	-	-	14.3
(9)60～69歳	-	-	-	-	-
(10)70歳以上	-	-	-	-	-
問3 朝食を食べない理由					
(1)時間がない	33.3	16.7	41.7	36.4	28.6
(2)食欲がわからない	22.2	16.7	25.0	9.1	42.9
(3)朝食を食べるより寝たい	11.1	16.7	8.3	18.2	-
(4)減量(いわゆるダイエット)のため	22.2	33.3	16.7	27.3	14.3
(5)朝食が用意されていない	5.6	16.7	-	-	14.3
(6)以前から食べる習慣がない	-	-	-	-	-
(7)食べたり準備したりすることが面倒である	5.6	-	8.3	9.1	-
回答者数(人)	158	40	118	71	87
問4 朝食で食べる物(複数回答)	N = 158				
(1)主食(ご飯やパン、麺類等)	93.0	85.0	95.8	95.8	90.8
(2)主菜(肉、魚、卵等のメインとなるおかず)	55.7	52.5	56.8	53.5	57.5
(3)副菜(野菜を中心としたおかず)	46.8	47.5	46.6	32.4	58.6
(4)果物	41.8	35.0	44.1	29.6	51.7
(5)牛乳・乳製品	59.5	55.0	61.0	67.6	52.9
(6)飲物	49.4	35.0	54.2	50.7	48.3

集 計 表

(%)

「食育について」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(7)シリアル(コーンフレーク等)	10.8	-	14.4	15.5	6.9
(8)その他	12.0	12.5	11.9	8.5	14.9
回 答 者 数(人)	176	46	130	82	94
問5 「メタボリックシンドローム」の認知度 N = 176					
(1)言葉も意味も知っていた	56.3	63.0	53.8	45.1	66.0
(2)言葉は知っていたが、意味は知らなかった	27.3	19.6	30.0	31.7	23.4
(3)言葉も意味も知らなかった	16.5	17.4	16.2	23.2	10.6
問6 食生活改善の必要性					
(1)はい	56.8	54.3	57.7	58.5	55.3
(2)いいえ	43.2	45.7	42.3	41.5	44.7
回 答 者 数(人)	100	25	75	48	52
問7 食生活改善の必要事項(複数回答) N = 100					
【A：必要と思う】					
(1)保健所、保健総合センター等、行政からの情報提供	74.0	88.0	69.3	60.4	86.5
(2)職場での情報提供	28.0	12.0	33.3	29.2	26.9
(3)スーパー、コンビニ等での情報提供	62.0	60.0	62.7	56.3	67.3
(4)食品メーカーからの情報提供	66.0	52.0	70.7	64.6	67.3
(5)飲食店での情報提供	44.0	28.0	49.3	45.8	42.3
(6)市販食品や外食メニューの栄養成分表示	73.0	68.0	74.7	68.8	76.9
(7)身近な場所での栄養士など専門家によるアドバイス	62.0	72.0	58.7	56.3	67.3
(8)学校での教育	64.0	48.0	69.3	66.7	61.5
(9)時間的なゆとり	67.0	48.0	73.3	75.0	59.6
【B：必要と思わない】					
(1)保健所、保健総合センター等、行政からの情報提供	12.0	4.0	14.7	18.8	5.8
(2)職場での情報提供	49.0	64.0	44.0	54.2	44.2
(3)スーパー、コンビニ等での情報提供	17.0	16.0	17.3	20.8	13.5
(4)食品メーカーからの情報提供	16.0	28.0	12.0	12.5	19.2
(5)飲食店での情報提供	32.0	48.0	26.7	31.3	32.7
(6)市販食品や外食メニューの栄養成分表示	9.0	12.0	8.0	8.3	9.6
(7)身近な場所での栄養士など専門家によるアドバイス	18.0	8.0	21.3	20.8	15.4
(8)学校での教育	13.0	24.0	9.3	12.5	13.5
(9)時間的なゆとり	11.0	28.0	5.3	6.3	15.4
回 答 者 数(人)	176	46	130	82	94
問8 「食育」の認知度					
(1)言葉も意味も知っていた	65.3	58.7	67.7	63.4	67.1

集 計 表

(%)

「食育について」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(2)言葉は知っていたが意味は知らなかった	22.2	26.1	20.8	22.0	22.3
(3)言葉も意味も知らなかった	12.5	15.2	11.5	14.6	10.6
問9 「食育」の関心度					
(1)関心がある	58.0	52.2	60.0	46.3	58.0
(2)どちらかといえば関心がある	38.1	41.3	36.9	46.3	38.1
(3)どちらかといえば関心がない	4.0	6.5	3.1	7.3	4.0
(4)関心がない	-	-	-	-	-
(5)分からない	-	-	-	-	-
回 答 者 数 (人)	169	43	126	76	93
問10 「食育」に関心がある理由(複数回答) N = 169					
(1)子供の心身の健全な発育のために必要だから	79.3	60.5	85.7	88.2	72.0
(2)食生活の乱れが問題となっているから	74.6	76.7	73.8	67.1	80.6
(3)肥満や、やせすぎが問題になっているから	54.4	60.5	52.4	48.7	59.1
(4)生活習慣病の増加がもんだいになっているから	72.8	74.4	72.2	67.1	77.4
(5)BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから	40.2	37.2	41.3	27.6	50.5
(6)食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから	21.9	30.2	19.0	14.5	28.0
(7)食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから	40.2	48.8	37.3	21.1	55.9
(8)消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから	23.1	27.9	21.4	13.2	31.2
(9)自然環境と調和した食料生産が重要だから	33.1	41.9	30.2	18.4	45.2
(10)大量の食べ残しなど食料廃棄物が問題だから	34.9	34.9	34.9	21.1	46.2
(11)自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから	49.1	53.5	47.6	30.3	64.5
(12)その他	8.9	7.0	9.5	7.9	9.7
回 答 者 数 (人)	46	22	24	12	34
問11 「食育」に関する活動の有無 N = 46					
(1)積極的にしている	12.5	17.4	10.8	4.9	19.1
(2)できるだけするようにしている	44.3	39.1	46.2	43.9	44.7
(3)あまりしていない	15.9	19.6	14.6	20.7	11.7
(4)したいと思っているが実際にはしていない	25.6	23.9	26.2	26.8	24.5
(5)したいと思わないし、していない	1.7	-	2.3	3.7	-
(6)分からない	-	-	-	-	-
回 答 者 数 (人)	76	20	56	42	34
問12 「食育」に関する活動をしていない理由(複数回答) N = 76					
(1)自分や家族の食生活に関心がないから	2.6	5.0	1.8	2.4	2.9
(2)食事や食生活への関心はあるが、他の事で忙しいから	68.4	70.0	67.9	64.3	73.5
(3)食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	38.2	20.0	44.6	45.2	29.4

集 計 表

(%)

「食育について」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(4) 食事や食生活を特に意識しなくても問題はないから	7.9	20.0	3.6	7.1	8.8
(5) 「食育」自体についてよく知らないから	9.2	10.0	8.9	9.5	8.8
(6) 活動や行動をしたくても情報が入手できないから	32.9	40.0	30.4	26.2	41.2
(7) その他	7.9	5.0	8.9	7.1	8.8
回 答 者 数 (人)	173	46	127	79	94
問 1 3 「食育」に必要と思う情報 (複数回答) N = 1 7 3					
(1) 食品の栄養やその働き・食事のバランス	90.2	97.8	87.4	91.1	89.4
(2) 食生活に関する作法やしつけ	28.9	15.2	33.9	32.9	25.5
(3) 野菜づくりなどを体験する方法	19.1	15.2	20.5	25.3	13.8
(4) 様々な料理の調理方法や調理器具の使用法	28.3	30.4	27.6	25.3	30.9
(5) 食品添加物など食品表示の読み方やその内容	60.1	67.4	57.5	55.7	63.8
(6) 食べ物の産地やその食品の生産や流通過程	35.3	34.8	35.4	30.4	39.4
(7) 食生活に関わるイベント情報	17.9	15.2	18.9	15.2	20.2
回 答 者 数 (人)	176	46	130	82	94
問 1 4 食事に求めるもの (複数回答) N = 1 7 6					
(1) 美味しさ	62.5	71.7	59.2	57.3	67.0
(2) 手作り	34.7	19.6	40.0	32.9	36.2
(3) 栄養のバランス	86.9	87.0	86.9	81.7	91.5
(4) 安全性	58.0	60.9	56.9	51.2	63.8
(5) 満足感	18.2	21.7	16.9	23.2	13.8
(6) 団らん	30.7	13.0	36.9	40.2	22.3

問 1 5 は記述回答のため割愛